

市第1号議案関連資料

基本計画特別委員会
こども教育分科会
令和8年6月1日
こども青少年局

## 横浜市中期計画2026-2029（原案）

こども青少年局抜き刷り版



# 議決範囲の考え方

横浜市中期計画2026～2029の議案については、原案のうち「現状と課題」や「目指す姿」等をまとめており、本資料では該当部分を黒い点線で囲んでいます。

## 01 毎日の安心・安全

**現状と課題** 現状を振り返り課題と課題

**01 現状と課題**

- 無事故の日常を前提とした対応など、防災意識は所定水準で確保されています。また、11の防災の取組(11)による防災意識の向上など、市民の防災意識が向上しています。防災の取組(11)による防災意識の向上など、市民の防災意識が向上しています。
- 防災意識の向上など、市民の防災意識が向上しています。

**02 防災意識**

防災意識の向上など、市民の防災意識が向上しています。

**03 インフラ施設の安全確保**

インフラ施設の安全確保など、市民の防災意識が向上しています。

**目指す姿** 目指す姿として、見直しに向けた取組を進めます。

防災意識の向上など、市民の防災意識が向上しています。

**取組の進捗** 取組の進捗の状況を示すグラフ

防災意識の向上など、市民の防災意識が向上しています。

## 01 防災・歩行者の安心・安全

**1 防災、歩行者の安心・安全**

防災意識の向上など、市民の防災意識が向上しています。

**2 インフラ施設の安全確保**

インフラ施設の安全確保など、市民の防災意識が向上しています。

**3 防災意識**

防災意識の向上など、市民の防災意識が向上しています。

**4 インフラ施設の安全確保**

インフラ施設の安全確保など、市民の防災意識が向上しています。

## 01 循環型都市への移行

循環型都市への移行の必要性

**現状及び将来展望**

**サーキュラーエコノミー(循環経済)とは**

サーキュラーエコノミーとは、資源の循環を促進する経済モデルです。

**2029 (令和11) 年の構想の姿 (循環型都市)**

2029 (令和11) 年の構想の姿 (循環型都市)

**2040 (令和22) 年の構想の姿 (循環型都市)**

2040 (令和22) 年の構想の姿 (循環型都市)

## 01 循環型都市への移行

循環型都市への移行の必要性

**現状及び将来展望**

**サーキュラーエコノミー(循環経済)とは**

サーキュラーエコノミーとは、資源の循環を促進する経済モデルです。

**2029 (令和11) 年の構想の姿 (循環型都市)**

2029 (令和11) 年の構想の姿 (循環型都市)

**2040 (令和22) 年の構想の姿 (循環型都市)**

2040 (令和22) 年の構想の姿 (循環型都市)

## 目次

### 政策・施策

- 1 14の政策群と33の施策群
  - 政策群04 こども・子育て . . . . . 3 (※冊子33ページ)
  - 政策群07 障害児・者 . . . . . 7 (※冊子39ページ)

- 参考資料 素案からの主な変更点 . . . . . 11

# 04 こども・子育て



## 現状と課題 - 横浜を取り巻く状況と課題 -

### ○保育の量的拡充から質的向上への転換

- ・待機児童※1ゼロの継続、保留児童※2の低減に向けて、より効果的な取組を推進していきます。また、今と未来を生きるこどもの健やかな育ちを支えるため、質の高い保育・幼児教育の確保と充実を図ることが重要です。
- ・仕事や急用、リフレッシュ等様々な場面で安心して利用できる預かりサービスを提供できるよう、利用者の状況を踏まえ、的確かつスムーズに提供できる仕組みづくりが重要です。
- ・誰もが安心して子育てできるよう、病児・病後児保育や医療的ケア児への支援など、多様な保育を実現する環境の整備が重要です。

### ○ゆとりの創出（時間的・精神的・経済的負担感の軽減）

- ・「家庭と子育てに関するコホート研究（ハマスタディ）」では、フルタイム勤務の妻の平日の家事時間は、こどもがいない家庭の1.8時間に対し、こどもがいる家庭では2.2から2.5時間と長く、時間的負担感が高まることがわかりました。
- ・2023（令和5）年に保護者を対象に実施した調査では、未就学児保護者の92.7パーセントが子育てに関して何らかの困り事を抱えており、精神的・経済的負担感の軽減が課題です。

### ○こどもの体験機会の充実

- ・体験活動（自然・社会・文化的体験、本物に触れる機会など）を多く経験したこどもは、その後自尊感情や外向性、精神的な回復力が高くなる傾向が見られます。家庭環境等こどもの置かれた状況にかかわらず、多様な体験ができることが重要であることから、公教育や、社会全体でこども・若者の体験活動をどのように支援していくのが課題です。

### ○困難な状況にあるこども・家庭への支援

- ・家族の疾病や経済的な困窮、ひとり親家庭など、困難を抱えやすい養育環境の家庭では、こども・若者が様々な課題に直面することがあります。こどもに寄り添った支援が重要であり、社会全体で見守り、悩みや課題の早期発見・早期支援を実現していくことが課題です。

## 目指す姿 - 4年後、そして、更に将来にわたって目指すべき姿 -

- ・全てのこどもを社会全体で支えることで、未来を創るこども一人ひとりが自分の良さや可能性を発揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会を創り出していく力が育まれています。
- ・こどもたちが、様々な遊びや学び、体験機会に接することで、自己肯定感を高められる環境が整っています。
- ・誰もが安心して出産・子育てができ、気持ちに余裕を持ってこどもに向き合うことができています。

## 政策指標 - 市民の皆様の横浜市での暮らしの意識を表す指標 -

### 子育てしやすいまちだと思いますか

57.0%

こどもの成長と子育て支援に向けた取組に関連する主な個別分野別計画等

よこはまわくわくプラン

横浜市社会的養育推進計画

横浜市子どもの貧困対策に関する計画

横浜市ひとり親家庭自立支援計画



※1 待機児童：国の集計方法に基づき、保留児童から横浜保育室入所者等を除いた児童  
 ※2 保留児童：保育所等に利用申込をしたが、保育所等を利用できていない児童

## 施策群

施策指標 - 2029（令和11）年度に向けて進捗管理し、成果発揮を目指す指標 - を設定

### 6 子育て支援

方向性	全てのこども・子育て世代への切れ目のない支援を通じて、誰もが安心して出産・子育てができ、また、保護者がこどもに向き合う気持ちの余裕を持って生活することで、親子の笑顔と幸せにつながるよう、妊娠期から子育て期にわたる相談支援や一時預かり施策の充実、18歳までの小児医療費助成の無償化など、子育て世代の「ゆとり」を創り出すための視点を持ってこどもの健やかな成長を支援する取組を進めます。					
指標	一時保育・乳幼児一時預かり等の利用実人数【こども青少年局】	現状 17,187人	目標 20,000人	小児医療費助成の対象者数【健康福祉局】	現状 415,207人	目標 480,019人
	子育て応援アプリ「バマトコ」のアクティブユーザー※1数【こども青少年局】	現状 93,209人	目標 125,000人	子育て世代への住宅補助世帯数【建築局】	現状 0世帯	目標 240世帯

### 7 保育・幼児教育

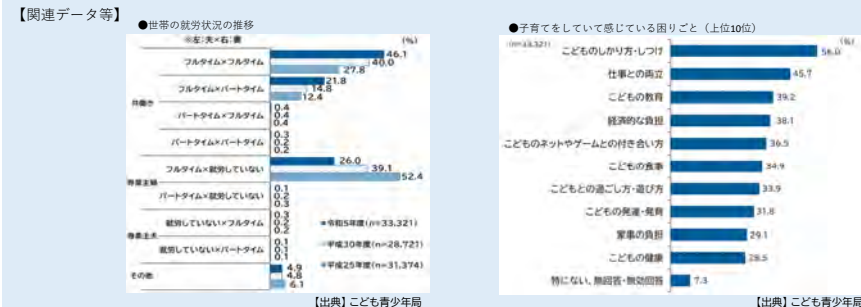
方向性	待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、安定的な保育・幼児教育の場の確保に取り組むとともに、質の確保・向上を図ります。また、多様化するニーズに対応し、安心して子育てできる環境整備に向けて個別に支援が必要な児童に対する支援や保育士等の人材確保などを進め、保育・幼児教育の体制の確保に取り組めます。					
指標	待機児童数【こども青少年局】	現状 0人	目標 0人	保留児童数（育児休業延長希望を除いた数）【こども青少年局】	現状 1,256人	目標 減少 1,256人未満

### 8 こどもの体験機会づくりと居場所の充実

方向性	全てのこどもが、創造力や好奇心、自己肯定感を育むことができるよう、年齢に応じた体験機会の充実や多様なニーズに応じた居場所づくりに取り組みます。また、放課後の時間を過ごすこどもの安心・安全な居場所を確保するとともに、学校の長期休業期間中の昼食提供などを実施することで、子育て世代にゆとりを創出し、こどもと向き合う時間の充実につながるよう取り組みます。					
指標	こどもの体験機会数（スポーツ・文化・農を含む。）【こども青少年局】	現状 12,075回	目標 14,500回	放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供利用者数【こども青少年局】	現状 20,265人	目標 22,000人

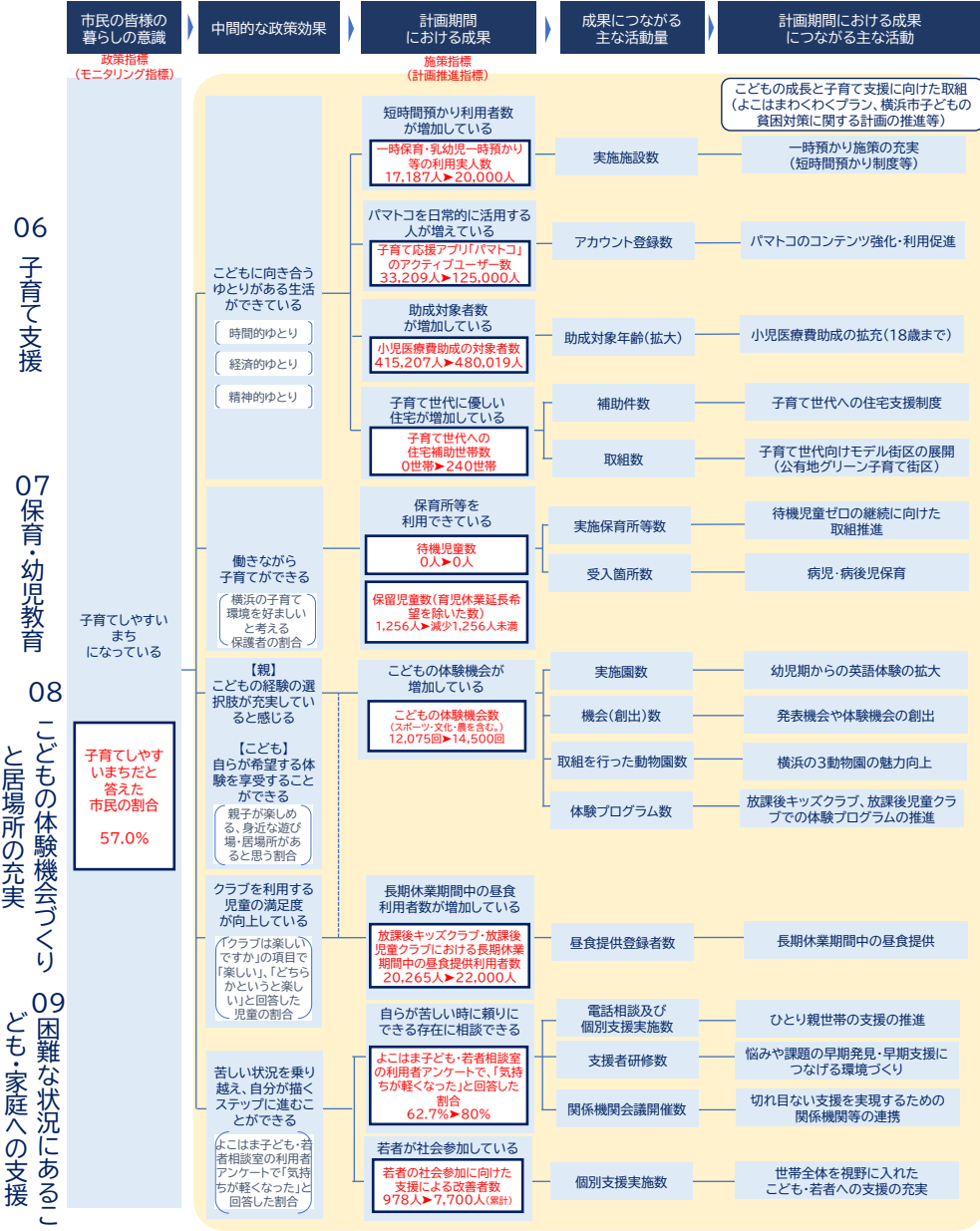
### 9 困難な状況にあるこども・家庭への支援

方向性	貧困や、児童虐待、ヤングケアラーなどの様々な困難を抱えるこども・若者及びその家庭の状況を早期に把握し、包括かつ適切な支援へつなげるため、各学校や地域人材との連携、相談窓口の充実や地域の人材育成、広報、地域住民への普及啓発など総合的な対策を推進し、こどもやその家族を社会全体で見守り・支える環境づくりを進めます。					
指標	よこはま子ども・若者相談室の利用者アンケートで、「気持ち が軽くなった」と回答した割合【こども青少年局】	現状 62.7%	目標 80%	若者の社会参加に向けた支援による改善者数【こども青少年局】	現状 978人	目標 7,700人（累計）



※1 「バマトコ」のアクティブユーザー：一か月間にログインしてバマトコを訪問・利用した「実利用者」

政策群：子ども・子育て



こどもの成長と子育て支援に向けた取組  
(よこはまわくわくプラン、横浜市子どもの貧困対策に関する計画の推進等)

子育てしやすいまち  
になっている

子育てしやすいまちだと答えた市民の割合  
57.0%

※ 中間的な政策効果は、市民の皆様の暮らしの意識を表す指標の向上に向けた経路の思考・確認の一例を掲載  
本計画に記載以外の中間的な政策効果も含め、個別分野別計画の取組と連動させ、状態を確認・検証しながら柔軟に実施  
※ 取組に記載している個別分野別計画はR8.5時点

# 07 障害児・者



## 現状と課題 - 横浜を取り巻く状況と課題 -

### ○障害児・者への支援

- ・障害のある人が増加する中で、医療的ケア児・者や重症心身障害児・者など日常的な支援を必要とする人、発達障害のある人も増えています。個々のニーズは多様化しており、こうした人々の暮らしを支え、ライフステージの円滑な移行を支援する取組や体制の充実が重要です。
- ・障害のある子どもたちが、安心して保育所等や学校に通うことができるよう、受入環境の拡充や通学の支援などが重要です。

### ○「働きたい」ニーズに応える

- ・第4期障害者プラン策定に係るアンケート調査では20歳未満の約7割、20歳から40歳代の約5割が働きたいと回答しており、多様な働き方や障害者就労に対する理解の促進に取り組むことが重要です。

### ○インクルーシブ※1なまちづくり

- ・多様性に配慮した制度の推進、公共施設や設備のバリアフリー化の推進、インクルーシブスポーツの推進、デジタル技術を活用した体験機会の拡充など、様々な分野で総合的にインクルーシブなまちづくりを進めることが重要です。

## 目指す姿 - 4年後、そして、更に将来にわたって目指すべき姿 -

- ・障害児・者やその家族に切れない支援を行うとともに、ソフト・ハードの両面からインクルーシブなまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。
- ・DX技術等の活用による体験機会・就労機会の拡充を通じて、自分らしさを発揮し、いきいきと生活ができています。

## 政策指標 - 市民の皆様の横浜市での暮らしの意識を表す指標 -

障害児・者にとって暮らしやすいまちだと思いますか

30.9%

障害児・者に対する支援充実に向けた取組に関連する主な個別分野別計画等

横浜市障害者プラン

よこはまわくわくプラン  
(横浜市子ども・子育て支援事業計画/  
横浜市こども計画)

横浜市教育振興基本計画



【関連するSDGsの取組】



※1 インクルーシブ：障害の有無、年齢、性別、国籍などにかかわらず、多様な人々が互いを尊重し、共生する社会や取組

## 施策群

施策指標 - 2029 (令和11) 年度に向けて進捗管理し、成果発揮を目指す指標 - を設定

## 15 障害児・者支援

方向性

障害のある人が希望する場所で自分らしく安心して生活することができるよう、地域生活を支える様々な社会資源と連携しながら、社会を構成する一員としての多様な暮らしや就労を支える取組を推進します。  
また、障害のある子どもたちが将来自らの選択により自立生活を実現できるよう、個々の状況に応じた本人の主体性を獲得する力を引き出し、育てていく支援（エンパワメント）と合わせ、庁内の関係部局や、関係機関等との連携を強化し、乳幼児期、学齢期、青年期、成人期を通じた切れ目のない支援を推進します。

指標

グループホーム利用者数 【健康福祉局】	現状 6,295人 目標 7,000人	医療的ケア児の待機児童数 【こども青少年局】	現状 0人 目標 0人
福祉施設から一般就労への移行者数 【健康福祉局】	現状 1,056人 (R6時点) 目標 1,200人	医療的ケア児・者等支援者養成数 (養成研修修了者数累計) 【こども青少年局】	現状 349人 目標 540人

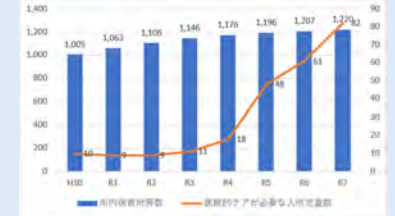
### 【関連データ等】

#### ●障害者手帳の所持者数推移



【出典】健康福祉局

#### ●市内保育所等における医療的ケア児の受入児童数状況



【出典】こども青少年局

#### ●小栗自然公園インクルーシブ遊具広場の様子



【出典】みどり環境局

#### ●医療的ケア児の保育やケアの様子



【出典】こども青少年局  
健康福祉局

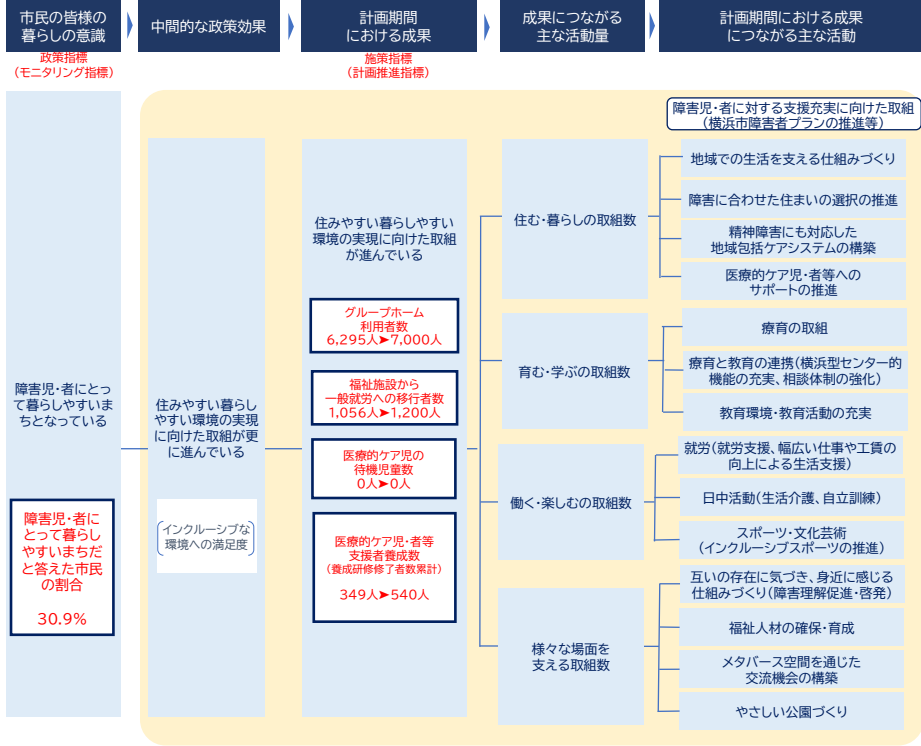
### 【障害のある人の働き方 ～一般就労と福祉的就労～】

障害のある人の働き方には、企業等で働く「一般就労」のほか、「福祉的就労」があります。福祉的就労は、福祉サービスを提供する事業所での作業等を通じて、収入を得る働き方です。福祉事業所には様々な種別があり、作業内容は事業ごとに異なります。福祉的就労を経て一般就労をする人もいれば、福祉的就労で働き続ける人もいます。

横浜市は地域生活を支える様々な社会資源と連携しながら障害のある人の多様な暮らしや就労を支える取組を推進していきます。



政策群：障害児・者



15 障害児・者支援

※ 中間的な政策効果は、市民の皆様の暮らしの意識を表す指標の向上に向けた経路の思考・確認の一例を掲載  
 ※ 本計画に記載以外の中間的な政策効果も含め、個別分野別計画の取組と連動させ、状態を確認・検証しながら柔軟に実践  
 ※ 取組に記載している個別分野別計画はR8.5時点

## 参考資料：素案からの主な変更点

素案の公表後、横浜を取り巻く状況の変化やパブリックコメント等を踏まえ、庁内検討が進展した内容を反映し、変更した主な内容は次のとおりです。

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更案（原案）
(冊子33)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 3 政策群4 こども・子育て 現状と課題 ○保育の量的拡充から質的向上への転換		待機児童の注釈を追記
(冊子33)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 3 政策群4 こども・子育て 現状と課題 ○保育の量的拡充から質的向上への転換		保留児童の注釈を追記
(冊子34)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 4 政策群4 こども・子育て 施策群6 子育て支援 指標	一時保育・乳幼児一時預かり等の利用実人数 現状 16,665人(R6時点)	現状 17,187人
(冊子34)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 4 政策群4 こども・子育て 施策群6 子育て支援 指標	子育て応援アプリ「バマトコ」のアクティブユーザー数 現状 33,581人	現状 33,209人
(冊子34)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 4 政策群4 こども・子育て 施策群6 子育て支援 指標		「バマトコ」のアクティブユーザーの注釈を追記
(冊子34)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 4 政策群4 こども・子育て 施策群7 保育・幼児教育 指標	保留児童数(育児休業延長希望を除いた数) 現状 1,511人 目標 減少1,511人以下	現状 1,256人 目標 減少1,256人未滿
(冊子34)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 4 政策群4 こども・子育て 施策群8 こどもの体験機会づくりと居場所の充実 指標	こどもの体験機会数(スポーツ・文化・農を含む) 現状 調査中 目標 -	現状 12,075回 目標 14,500回

## 参考資料：素案からの主な変更点

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更案（原案）
(冊子34)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 4 政策群4 こども・子育て 施策群9 困難な状況にあるこども・家庭への支援 指標	よこはま子ども・若者相談室の利用者アンケートで、「気持ちが悪くなった」と回答した割合 現状 64.2%(R6時点)	現状 62.7%
(冊子34)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 4 政策群4 こども・子育て 施策群9 困難な状況にあるこども・家庭への支援 指標	若者の社会参加に向けた支援による改善者数 現状 1,430人(R6時点)	現状 978人
(冊子39)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 7 政策群7 障害児・者 現状と課題 ○障害児・者への支援	・障害のある人が増加する中で、医療的ケア児・者や重症心身障害児・者など日常的な支援を必要とする人、発達障害のある人も増えています。個々のニーズは多様化しており、こうした人々の生活を支えるためには、支援に関する取組や体制の充実が重要です。	・障害のある人が増加する中で、医療的ケア児・者や重症心身障害児・者など日常的な支援を必要とする人、発達障害のある人も増えています。個々のニーズは多様化しており、こうした人々の暮らしを支え、ライフステージの円滑な移行を支援する取組や体制の充実が重要です。
(冊子39)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 7 政策群7 障害児・者 目指す姿	・障害児・者やその家族への支援を行うと共に、ソフト・ハードの両面からインクルーシブなまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。	・障害児・者やその家族に切れ目のない支援を行うとともに、ソフト・ハードの両面からインクルーシブなまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。
(冊子40)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 8 政策群7 障害児・者 施策群15 障害児・者支援 方向性	また、障害のあるこどもたちが将来自らの選択により自立生活を実現できるよう、個々の状況に応じた本人の主体性を獲得する力を引き出し、育てていく支援(エンパワーメント)と合わせ、乳幼児期、学齢期、青年期、成人期を通じた切れ目のない支援を推進します。	また、障害のあるこどもたちが将来自らの選択により自立生活を実現できるよう、個々の状況に応じた本人の主体性を獲得する力を引き出し、育てていく支援(エンパワーメント)と合わせ、 <b>庁内の関係部局や、関係機関等との連携を強化し</b> 、乳幼児期、学齢期、青年期、成人期を通じた切れ目のない支援を推進します。
(冊子40)	IV 政策・施策 1 14の政策群と33の施策群 8 政策群7 障害児・者 施策群15 障害児・者支援 指標	医ケア児・者等支援者養成数(養成研修修了者数累計) 現状 305人(R6時点)	医療的ケア児・者等支援者養成数(養成研修修了者数累計) 現状 349人